



トスプリングスを見学する機会がありました。いずれも車や登山鉄道やスキー用のリフトを利用して、観測所のすぐ側まで年中アクセスできます。一方、富士山頂に測定器を運ぶためにはブルドーザーを利用するしかありません。しかし、国外の高所観測所は山の中腹や山脈の一部にあります。富士山頂へのアクセスは不便ですが、地形的には恵まれているので、我慢して観測を続けていきたいと思っています。

### 総合研究院山岳大気研究部門

筆者はNPOの活動を通じ、山岳大気研究の連絡会の必要性を感じ、2011年4月に理科大に山岳大気研究部門を立ち上げました(表1)。これまで個々の研究機関がそれぞれの山岳地域で行ってきた成果、ノウハウを共有することにより、個々の研究の活性化を図り、さらなる共同研究、山岳大気観測のネットワーク化をめざすことが目的です。部門は2016年3月に終了し、4月から改組し大気科学研究部門として活動を始めました。5年間の活動ではまだ十分な成果は上がっていません

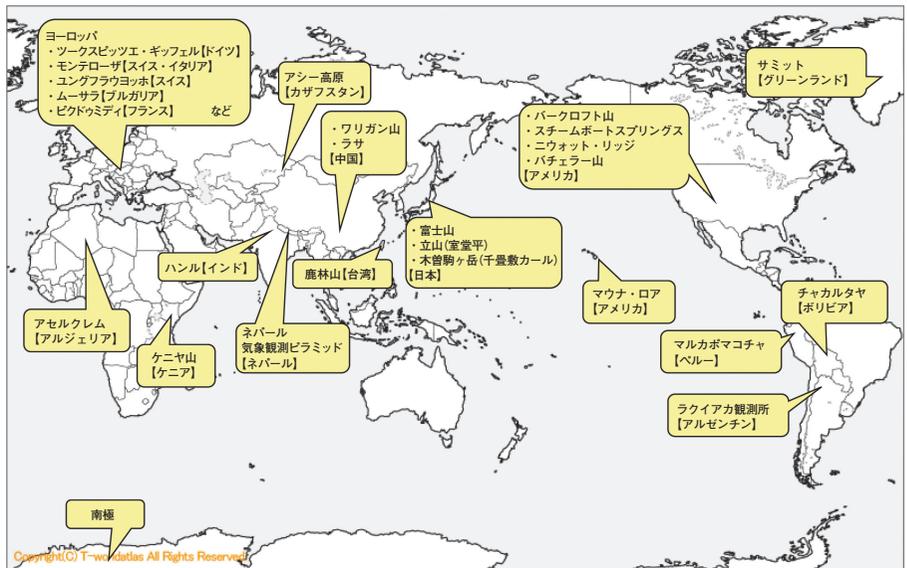


図2 世界の大気科学観測拠点 2,500m以上

表1 山岳大気研究部門メンバー (終了時)

職名	氏名	所属	専門
部門長・教授	三浦 和彦	理学部第一部物理学科	大気物理学
教授	児島 紘	理工学部教養	環境放射線科学
教授	橋本 巖	理学部第一部物理学科	回折結晶学
講師	永野 勝裕	理工学部教養	環境放射線科学
講師	野島 雅	総合研究院	分析化学
助教	浅野 比	山口東京理科大学工学部応用化学科	環境化学
助教	岩本 洋子	理学部第一部物理学科	地球化学
副センター長	西川 雅高	環境安全センター	環境化学
客員教授	青木 一真	富山大学大学院理工学研究部教授	大気物理学
客員教授	五十嵐 康人	気象研究所環境・応用気象研究部室長	地球化学
客員教授	大河内 博	早稲田大学創造理工学部教授	環境化学
客員教授	兼保 直樹	産業総合研究所上席主任研究員	大気物理学
客員教授	財前 祐二	気象研究所環境・予報研究部室長	エアロゾル科学
客員教授	永淵 修	滋賀県立大学教授	大気化学
客員教授	畠山 史郎	東京農工大学農学部教授	大気化学
客員教授	速水 洋	電力中央研究所環境科学研究所上席研究員	大気化学
客員教授	藤田 慎一	電力中央研究所名誉研究アドバイザー	大気環境学
客員准教授	長田 和雄	名古屋大学大学院環境科学研究科准教授	大気化学
客員准教授	加藤 俊吾	首都大学東京都市環境学部准教授	大気化学
客員准教授	鴨川 仁	東京学芸大学准教授	大気電気学
客員准教授	小林 拓	山梨大学大学院医学工学総合研究部准教授	大気物理学
客員准教授	松木 篤	金沢大学環日本海域環境研究センター准教授	大気物理学
客員准教授	皆巳 幸也	石川県立大学生物資源環境学部准教授	大気化学
客員准教授	矢島 千秋	放射線医学総合研究所主任研究員	放射線防護学
客員研究員	櫻井 達也	明星大学助教	大気物理学
客員研究員	矢吹 正教	京都大学助教	大気物理学
外部評価委員	植松 光夫	東京大学大気海洋研究所教授	地球化学
外部評価委員	土器屋由紀子	NPO法人富士山測候所を活用する会理事	大気化学

が、本特集において、部門のメンバーを中心に山岳大気の研究の紹介をお願いしました。